企画・統計、広報関係部課長会議　議事録

１　日　時　平成２７年５月７日（木）　午後１時３０分
２　会　場　愛知県自治センター４階　大会議室
３　当番市　津島市
４　出席者　愛知県・・・地域政策課　主任主査　上原　敏
　　情報企画課　主査　金澤　誠
　　市・・・・・名古屋市企画課　主査　中島正和　始め３９名
　　市長会事務局・・・行政係長　大山順子
　　財政係長　西本康一
５　内　容　①　開　　会　市長会事務局　西本康一
　　②　あいさつ　愛知県地域政策課　主査　上原　敏
　　③　議長選出　津島市企画政策課長　安井賢悟
　　④　議　　題　別紙参照
　　⑤　次年度当番市の決定　碧南市
　　⑥　閉　　会　市長会事務局　西本康一

議題１　市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョンについて（犬山市、東海市、岩倉市提出）

（１）策定状況
（２）住民参画の方法
（３）策定及び推進体制
　①組織について（審議会、付属機関等）
　②人数、構成員
（４）評価・検証機関及び評価方法等

◆各回答は別添資料参照。
尾張旭市…（３）①について、「庁内職員による推進体制の組織予定はありません。」を「市長・副市長・教育長・部長職から構成される推進組織を設置することとしました。」に訂正

◆質疑応答については以下のとおり。
Ｑ　犬山市：岡崎市の地方版総合戦略策定状況について、１０月末時点で完成された形で策定するということだが、新たに交付される交付金の活用も視野に入れているのか。
Ａ　岡崎市：１０月末までに策定し、事業の確立を図りたいと考えている。

Ｑ　岡崎市：検討機関について、金融機関との調整や議会との審議を経てということになっているが、どのように考えているか。岡崎市は、金融機関につい

ては、市内の金融協会を活用して意見交換を行う。議会との審議については、議会事務局に対応を任せている。

Ａ　豊橋市：議会の審議については、総務委員会で完成したものから示し、説明していく。６月に人口ビジョン、１０月にすべてを議会事務局に渡す。金融機関については、豊橋市商工会議所の会頭が、豊橋信用金庫の理事長を務めているので、意見を聞きながら事務を進めていく。

Ｑ　岩倉市：金融機関とメディアの検討機関の委員について、どのように選任するか。

Ａ　春日井市：既存の付属機関を活用し、関係機関と相談する。金融機関については、市の指定金融機関の意見を聞きながら、市職員による推進体制で進めていく。

Ａ　安城市：金融機関については一番近しい機関、メディアについては、地元のケーブルテレビを活用していく予定。

Ａ　尾張旭市：地元のグリーンシティケーブルテレビ株式会社に依頼している。

議長：議題１について愛知県からの発言を求める。

県（上原）：検討機関の金融機関とメディアについて、現時点で明確な方針を出している自治体はあまり多くはない。メディアに関しては、地元のケーブルテレビや中日新聞などの大手会社などの人脈を利用する事例もあるが、ほとんどの自治体ではメディアに関する検討機関はない。金融機関については、地元の金融機関が参加して組織していくことが多いと感じている。全体として、自治体の総合計画と地方版総合戦略の組織体制は、限られた人数のなかでまとめて検討しているところが多いが、総合戦略は地方創生・人口減少に対応したＫＰＩを定めてほしい。総合戦略の成果は、先行型交付金の審査の対象とはならないものの、時間も限られているので、県と情報共有しながら策定してほしい。

議題２　市ホームページ表示のスマートフォン対応について（東海市提出）

◆各回答は別添資料参照。

◆質疑応答

Ｑ　東海市：春日井市において、この２年ほどで急激にアクセス数が減ったということだが、何か原因があるのか。

Ａ　春日井市：アクセス数が急激に減ったのは、公式モバイルサイトであり、ＰＣのアクセス数が減ったわけではない。モバイルサイトのアクセス数の減った理由としては、情報性が少ないということが考えられる。

議長：議題２について愛知県からの発言を求める。

県（金澤）：半数の市において、ＨＰをスマートフォン対応済もしくは対応予定とい

う状況で､改めてスマートフォン対応への関心が高まっているといえる。愛知県ＨＰでも、平成２８年１月にリニューアルを予定している。現在はトップページのみスマートフォン対応だが、すべてのページがスマートフォン対応となる。愛知県では、平成２６年度のアクセス数の３６％が、スマートフォン・タブレットからのアクセスであり、今後もスマートフォン対応について考えていかなければならない。一方、携帯電話（ガラパゴスケータイ）によるアクセス数は減少している。グーグルやヤフーなどの大手の検索サイトは、携帯電話対象のサイトをデータ取得の対象から外しているため、携帯電話によるアクセス数が減少している一因となっているので、参考としてほしい。